



# 博物館の窓

第101回

学芸員

持田 誠

去る2023年10月31日、神奈川県横浜市のニユースパーク(日本新聞博物館)を会場に、フォーラム「フランスから考える民俗資料の収集保存と活用方法」が開催され、当館からも事例報告を行いました。

このフォーラムは、科学研究費助成事業「『民俗資料』の収集保存基準と検索名称の開発…工場部品から日記まで」(研究代表者：宇仁義和 東京農業大学の一環で開催したもので、当館学芸員も共同研究に参加しています。

フランスの博物館制度や資料保存の実際に関する事例を学んだのち、民俗資料(生活や産業に関する資料)を保存する上で、全国の博物館が抱えている課題について議論しました。共同研究はこれから3年間かけて実施します。共  
で、浦幌でも適宜「報告して参ります。

## 民俗資料の保存を考えるフォーラムを開催



総合討論を行なう、左から宇仁義和氏(東京農業大学オホーツクキャンパス博物館情報学研究室教授)、本間浩一氏(慶応義塾大学システムデザインマネジメント研究所研究員)、ベルトン・アリス氏(フランス:グルノーブル・アルプ大学准教授)、右端は当館の持田学芸員。